

日刊建設通信新聞（2014年12月3日3面掲載）

【オリコンサル 「ノー残業デー」 全社で86%達成】

「ノー残業デー」

全社で86%達成

オリコンサル

建設コンサルタツツ協会（大島一哉会長）が全会員企業を対象に10月の毎週水曜日に行った「協会一斉ノー残業デー」で、オリエンタルコンサルタツツの実施率（午後6時30分までの退社、速報値）は全社平均で86%に達した。同社は11月以降もノー残業デーを継続、本社では昨年から通年で実施している。

10月毎週水曜日の実施率は、29日が89%、8日が88%、1日が86%、22日が84%、15日が83%となり、いずれの週も8割を超えた。ノー残業デーを周知するポスターの張り出しのほか、管理職による呼び掛けの効果が大きかったとしている。

「情熱とやりがいプロジェクト」を進める同社は、施策の1つとして「就業環境の改善」を位置付けている。そのため、過去2年間、5月から10月をノー残業デー推進月間とし、毎週水曜日の定時退社を促進している。